
「2 型糖尿病における SGLT2 阻害薬とインクレチン薬投与による血管指標(AVI, API) への影響」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのデータを用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学総合医療センター研究倫理審査委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2013 年 1 月 1 日より 2018 年 9 月 30 日まで当科で SGLT2 阻害薬あるいはインクレチン薬 (DPP4 阻害薬と GLP1 受容体作動薬) の投与前後に医用電子血圧計 Pasesa®にて血圧測定を行った 2 型糖尿病の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

2 型糖尿病患者で SGLT2 阻害薬とインクレチン薬の投与前後の臨床管理指標 (血圧、HbA1c、体重、脂質など) と医用電子血圧計 Pasesa®による血管指標(AVI, API) の関連を検討することを目的としております。

3. 研究期間

病院長の許可後～2024 年 12 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2023 年 1 月 12 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

SGLT2 阻害薬あるいはインクレチン薬の投与前後に医用電子血圧計 Pasesa®にて血圧測定を行った 2 型糖尿病患者さんで、日常診療で記録された電子カルテデータより糖尿病患者の臨床管理指標となる項目 (血圧、HbA1c、体重、脂質など) を抽出し、検討します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である山崎悠理子が厳重に管理を致します。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんの検査を実施した際の検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者 (研究実施機関)

埼玉医科大学総合医療センター 内分泌・糖尿病内科 山崎 悠理子 (研究代表者)

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長

5. 試料・情報の提供について

※当院単独の研究かつ検査・解析等もすべて自機関で行う研究です。

お問い合わせについて

本研究は診療録等を利用する研究のため、本研究に参加することによる利益および不利益はございません。

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 内分泌・糖尿病内科 医局 (山崎悠理子)

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3564 (土日祝日を除く 9:00~16:00)

○研究課題名：2型糖尿病における SGLT2 阻害薬とインクレチン薬投与による血管指標(AVI, API) への影響

○研究責任(代表)者：埼玉医科大学総合医療センター 内分泌・糖尿病内科 山崎 悠理子